



# 関屋小だより

校長 佐藤 幸代

健康で明るい子

進んで行動できる子

よく考える子

## 4 年生 己書の体験をしました

4 年生が筆ペンで文字や絵を自由に描く「己書（おのれしよ）」を体験しました。講師の先生の温かいご指導のもと、自分の好きな言葉を色紙に書いていきました。自分の心をかいほうして、自由に表現する楽しさを存分に味わう素敵な体験になりました。

(感想より)

・書いているとき楽しかったしワクワクしました。書き上げたときは達成感最高でした。持って帰ったら「上手～！！」って言ってくれました。私は「教えてもらったから。」と言いました。教え方が上手でいい字が書けました。うれしかったです。

・書いているとき、少ししっばいしてしまったときに、いろいろな先生が「大丈夫！」「かわいい字。」「いい言葉だね。」と優しくほめてくれるからすごくうれしかったです。だからしっばいしたところもプラスに思えました。私の自信の作品なので、自分の部屋にしています。すごくいい体験になりました。ありがとうございます。

・いつもとはちがう書き方や点をぐるぐるするのも楽しかったしきもちがよかったです。いろいろなことをみなさんが優しくおしえてくれたから楽しかったです。お母さんは「えっすごっ！！」と言ってくれました。今は自分の机のかべに飾っています。今度は家で「人生笑うが勝ち」と書いてみようと思います。



## 福は内 鬼も内？！

2月3日は節分、4日は立春、こよみの上では春がやってきました。2日の全校朝礼には、吉野山から鬼がやってきて、みなさんにこんなお話をしてくれました。

「毎年節分の日には鬼は外、といって豆を投げられるのがつらかったが、役行者というお方に、悪い鬼にも良い心が必ずある、良い心を思い出さない。と教えさどされ、わしらは深く反省して良い鬼に生まれ変わった。それ以来、吉野山では「福は内、鬼も内」と言うようになった。」というお話です。2月の節分に豆をまいて鬼を退治する話は日本中に昔話が伝わっていますが、吉野山の鬼の話のように「鬼も内」という地域も他にもあるようです。興味のある人はぜひ自主学習で調べてみてくださいね。

さあ、みなさんの心の中にはどんな鬼がいるかな。なまけ鬼？いじわる鬼？うそつき鬼？誰の心にも大きい鬼や小さい鬼がいると思います。自分の心の鬼を「えいやっ」と退治して（時にはヨシヨシして）、友達心の鬼も優しい気持ちで許してあげられたらいいですね。関屋っ子のみなさんなら必ずできると信じています。

## 目指せ！自己新記録 なわとび月間

1月19日から、なわとび月間がスタートしました。寒さに負けず業間休みや昼休みになわとびにチャレンジしています。クラスみんなで力を合わせる大なわ、個人の力を伸ばす短なわ、どちらもすごい記録が出ています。得意な人も苦手な人もいるけれど、大事な人は人とくらべるのではなく、昨日の自分を越えること。自分の目標に向かってがんばることが大切です。私は小学生の時、体力がなくて体も弱いほうでした。だから、なわとびやマラソンはとても苦手でした。でも、得意なお友達にコツを聞いて、できない二重跳びや交差跳びかができるようになったときはとてもうれしかったです。自分の最高記録目指して楽しんで取り組みましょう！